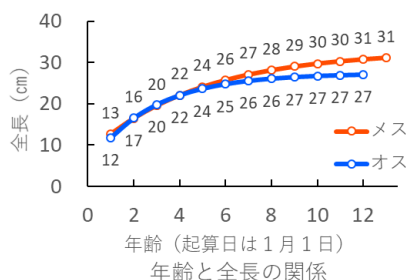


シロメバル（地方名：めばる）

1 生態

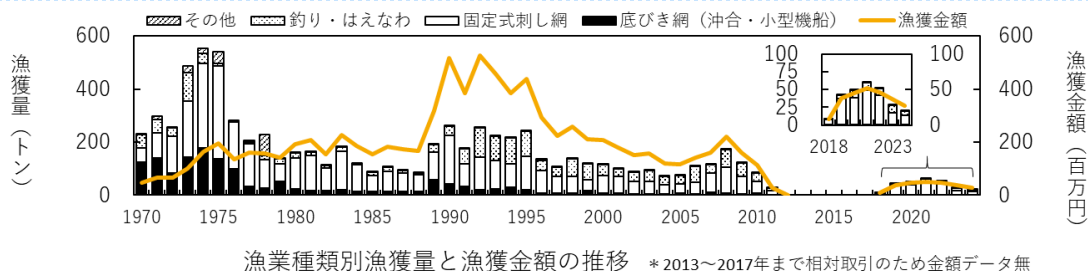
- ・青森県から九州北西岸の日本海・東シナ海、東北太平洋沿岸、相模湾から三重県の太平洋沿岸、瀬戸内海、有明海の岩礁域に分布しています。
- ・オスは2歳、メスは3歳で全て成熟します。卵胎生で12～2月に仔魚を産みます。仔魚は2か月ほど浮遊生活をした後、沿岸の藻場などに定着します。
- ・主に甲殻類や魚類を食べます。

* 福島県水試研究報告第13号（2006）により右図を作成



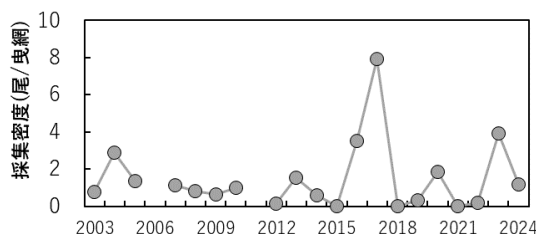
2 漁業に関する情報

- ・主に刺し網や釣り等で周年漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は19トン、金額は27百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2018年（平成30年）6月から再開されています。



3 資源の状態

- ・資源量の指標となるCPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の情報が不足していることから資源水準や動向は不明です。
- ・漁獲量の推移から、震災以前と比較して近年の資源は低位と考えられます。
- ・松川浦での稚魚調査によると、良好な加入がみられた2017年級群に次ぐ採集密度が2023年級群で確認されており、今後の漁獲加入が期待されます。



(参考) 松川浦ビームトロール調査における稚魚の採集密度の推移

4 資源管理の取組み

- ・冬季に産仔する親魚の漁獲圧を減らすことで、仔魚の尾数増加につながると考えられます。
- ・小型魚を保護することで、漁獲量及び漁獲金額の増加が期待できます。